

2024年6月24日

【JAXA】地球観測衛星画像の個別相談のご案内

JAXA（宇宙航空研究開発機構）
第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜わり、厚く御礼申し上げます。

私ども JAXA（宇宙航空研究開発機構）では、人工衛星（地球観測衛星）により宇宙から地球の観測を日々行っております。

地球観測衛星は、地球全体を網羅的且つ俯瞰的に捉えることができ、地球環境問題や災害の状況把握、グローバルな課題の理解促進など、教育現場での幅広い活用が可能です。

教科書や教材への掲載など教育目的であれば、基本的に無償でご提供しております。

今年度は、地球観測衛星画像の提供に関する個別相談を受け付けさせていただきます。

ご質問やご相談などございましたら、お気軽にお問い合わせください。

多くの皆様からのご連絡をお待ちしております。

【問い合わせ先】

JAXA（宇宙航空研究開発機構） 第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター

担当：岡 綾乃

E-mail：satellite-edu@ml.jaxa.jp

（ご参考）

JAXA の地球観測衛星の教育コンテンツ

<https://www.satnavi.jaxa.jp/ja/contact/education/>

衛星画像で見る地球環境の変化

<https://www.satnavi.jaxa.jp/ja/satellite-knowledge/data-insights/index.html>

※ 2023 年度に開催した教科書出版社向け説明会の資料をご覧になりたい方も上記問合せ先までご連絡下さい。

<地球観測衛星画像の一例>

■環境問題に関わる画像

環境問題の代表として多くの教科書でも扱われているブラジルの森林伐採においては、JAXAでも継続的に衛星によるモニタリングを行っており、この25年間で伐採により広範囲にわたって森林が喪失している状況を捉えております。(図1)

また近年の気候変動がもたらす変化として、北極海の海氷減少(図2)や、豪雨により世界各地で洪水の被害が多発している様子も捉えております。(図3)

その他にも地球温暖化現象を捉えた海面水温の上昇、二酸化炭素濃度の上昇等についても同様に、人間活動により地球環境が刻一刻と変化している危機的状況を衛星画像を通して伝えることで、未来の社会の作り手である子供たちへ、環境問題を考えるきっかけを与えられるのではないかと考えております。

■災害に関わる画像

2011年3月の東北地方太平洋沖地震においては、防災機関の方々に災害状況把握のために衛星画像を活用いただきました。広範囲にわたった津波の被害を伝える衛星画像は、これからも過去の教訓として子供たち一人ひとりの心に刻まれ、今後起きうる災害への備えとして防災・減災にもお役立ていただけるものであると考えております。(図4)

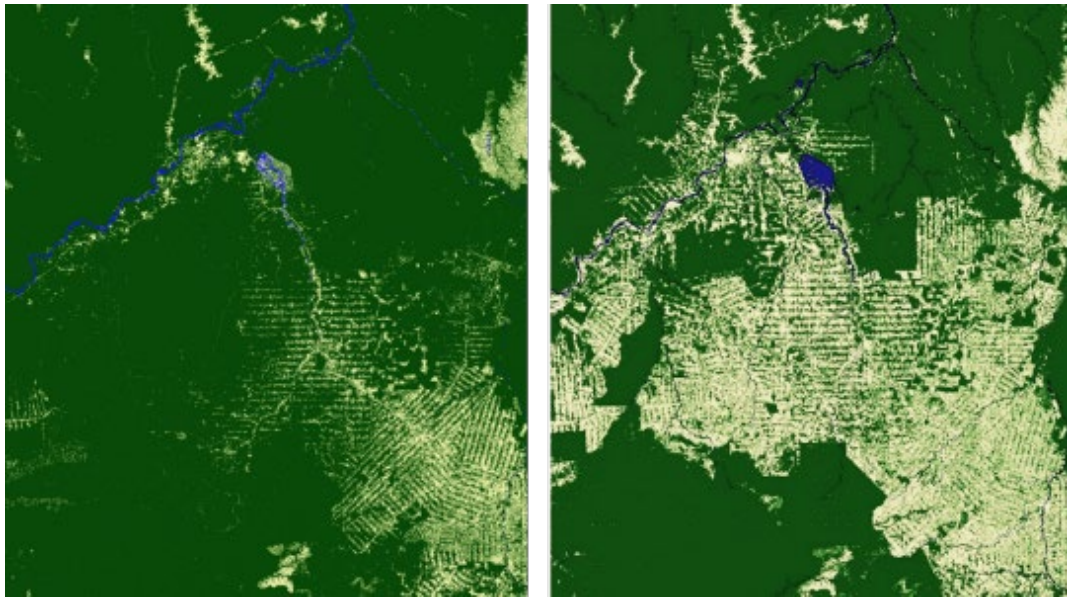


図1 ブラジルアマゾンの森林マップ（緑色：森林、黄緑色：非森林）
左：1996年、右：2020年（観測年）

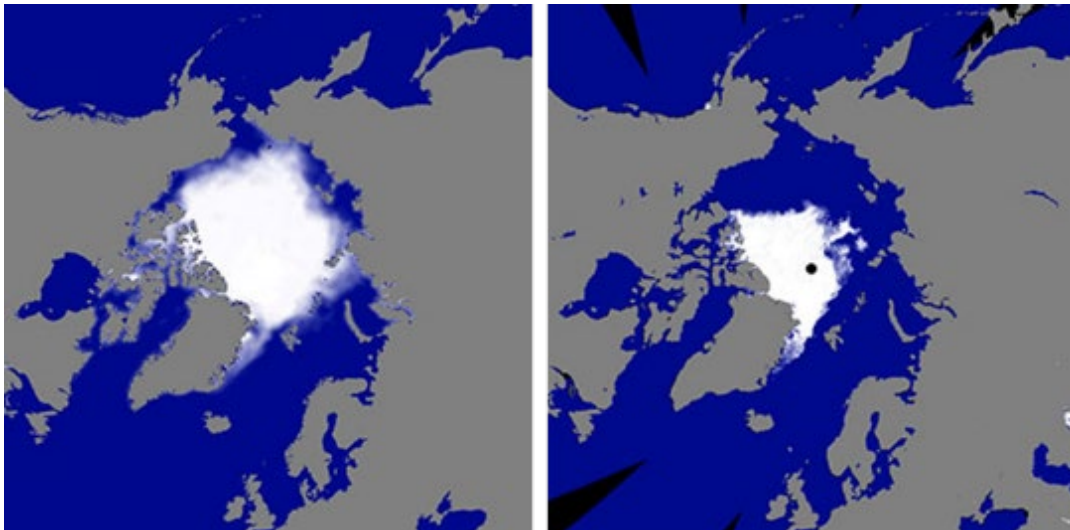


図2 北極海の海氷分布。2012年9月に観測史上最少面積を記録。
左：1980年代、右：2012年（観測年）



図3 2006年アルゼンチンの洪水
左：2006年4月29日、右：2006年7月30日（観測日時）



図4 宮城県石巻市の津波前後の様子。
上：2011年2月27日、下：2011年3月14日（観測日時）